

脳外科



明るいなやみ相談室

第 17 回



学会発表や、論文執筆の際の文献検索がうまくできません。うまいキーワードの設定の仕方など、コツがあれば教えてください。

(大阪府・匿名希望・30代男性)

文献検索
のコツは？



小笠原 邦昭 Kuniaki OGASAWARA

岩手医科大学脳神経外科

症例、結果のoriginalityを強調する

この質問は、「自分が検索したいキーワードを設定しても思いどおりの内容の論文がなかなか出てこない」と解釈してお答えしたいと思います。通常の学術論文、特に英文誌のキーワードは「Index Medicus」に準拠しています。したがって、調べたいキーワードがIndex Medicusに載っていないければ、PubMed等で検索してもできません。私も、一晩かかって、やっと1編だけ見つけた経験があります。これは繰り返しキーワードを変えて、しつこく検索していくしかないと思います。

話はそれますが、発表は別として論文を書く際に文献が大事なのは、「方法」の項での引用であって、考察における文献引用は最小限でいいと思います。論文の「考察」というのは著者自身の症例あるいは結果がどれだけoriginalityがあるのかを考察するのであって、これまでの文献をreviewするものではありません。特に一流雑誌では、このreviewを極端に嫌います。私はこれまで、「考察でこれまでの文献を引いていないからrejectする」と言われたことはありません。こういう場合は「この文献があるから引用するように」としか言ってきません。要するに、考察だけではrejectできないのです。

あまり文献にとらわれず、自分自身の症例あるいは結果のoriginalityを強調する方向で考察すべきと考えます。



佐藤 透 Toru SATOH

医療法人社団涼風会佐藤脳神経外科

手間暇を楽しむ

学会発表っていいですよ、他の人のご意見が聴けるチャンス。それがためには、発表の時点で、文献検索を終え論文執筆にとりかかっているか、すでに脱稿して投稿を済ませておくか、そうでありがたい、“そういうもの～わたしはなりたいたい”。

類似論文を探し当てる作業は、宝くじを引き当てるも同然。ひと昔前は、メーカー・薬屋さんに依頼して1週間、文献リストの中から宝玉のものを選んで、2～3週間後にやっとコピーが届く。しかるにいまや、簡単至極。Reviewするなら、医中誌、CiNii、Google Scholar、MEDLINEなど、クリック一発、机上からすぐに最新論文にたどり着ける。NEUROSURGERYやAJNRの専門誌限定なら、検索wordが本文中にハイライトされる。見つけた論文abstractから、お気に入りPDFをダウンロードしてその参考文献を漁る。そこから孫引き、ひ孫引き、はたまた玄孫-来孫引き、その過程でだんだんとkey-wordが煮詰まる。

文献検索は時間喰い虫。虎の子の休日、朝からの自由時間は、気がつけば昼餉^{ひるげ}、そして夕餉、あっちゅう間に日が暮れる。芝庭野良仕事にも出ず、熱帯魚水槽水換えも忘れ、愛犬のお散歩にも出かけず、何ら消費もせず一心不乱にecoなひととき。目の疲れや肩凝りと引き換えに、ちと裕福な知的時間の余韻に浸る。この手間暇をぜひお楽しみください。

みなさんの「明るいなやみ」を募集しています。人生経験豊富な先生方に回答していただきます。連絡先（所属施設名・住所・名前・性別・年齢・電話番号）とペンネーム（希望者のみ）を明記のうえ、nounge@medica.co.jp 脳神経外科速報編集室宛にメールでお送りください。

脳神経外科速報 vol.21 no.7 2011.7. 805

